

処方への介入と 調剤の概念について考える

～データを読み解き、最適な治療につなげる実践を～



2026.11.7 (土) 13:00-16:30

検査データの一例

WBC	5,600	/ μ L
RBC	436	$\times 10^4$ / μ L
Hb	13.2	g/dL
Plt	21.5	$\times 10^4$ / μ L
AST	28	U/L
ALT	32	U/L
γ -GTP	45	U/L
eGFR	42.3	mL/min/1.73m ²
CRP	0.18	mg/dL
HbA1c	7.2	%
PT-INR	1.05	%



処方箋

保険: _____
Rp. _____
1日 1回 4日分
用途: _____
用量: _____
注意事項: _____
医師名: _____

検査値を「情報」から「治療の力」へ

総司会

山崎 伸吾 (千葉大学大学院 薬学研究院 教授)

ご挨拶

小椋 康光 (千葉大学大学院 薬学研究院 研究院長・薬学部長)

Seminar 1 13:10-14:10

調剤の概念と薬学的管理の実践

演者

石井 伊都子

(千葉大学医学部附属病院 教授・薬剤部長)

座長

長田 和士

(長野松代総合病院 薬剤部長)

Seminar 2 14:20-15:20

臨床検査値の活用と薬物治療への介入

演者

新井 さやか

(千葉大学医学部附属病院 副薬剤部長)

佐藤 莉沙

(クオール薬局いのはなテラス店 薬剤師)

座長

永島 一輝

(千葉大学大学院 薬学研究院 助教)

Seminar 3 15:30-16:30

薬歴というツールについて考える

演者

山本 雄一郎

(株式会社ファルマユニオン 代表取締役社長)

座長

石井 伊都子

(千葉大学医学部附属病院 教授・薬剤部長)

- 本講座は千葉大学大学院薬学研究院、薬友会および医学部附属病院薬剤部の共催です。
- 本講座は薬剤師の生涯教育を目的にしています。参加資格は問いません。学生（無料）も歓迎します。
- 薬剤師認定制度認定機構 G13（一般社団法人 薬学ゼミナール生涯学習センター）より研修単位を発行予定です*。

※ G01（公益財団法人日本薬剤師研修センター）や P04（一般社団法人日本病院薬剤師会）などの他のプロバイダー単位等への受け入れは、各団体の規定の範囲内で可能です。

最新情報は
薬友会ホームページへ

単位認定等に関する質問は
各種団体へお尋ねください。

☑ <https://yakuyukai.net>



お問合せ

<https://peatix.com/event/5072515>

